

# 学び語りつながろう

## ～“この子らを世の光に”を実現する実践と学校・地域づくりの創造を～

### 第24回全国障害児学級&学校



# 学習交流集会in滋賀

期日：2025年1月11日(土)～12日(日)

場所：1月11日 全体会 大津市民会館大ホール（大津市島の関 14-1）

全体交流会 ピアザ淡海（大津市におの浜 1-1-20）

1月12日 ①コラボ滋賀 21（大津市打出浜 2-1）

②勤労福祉センター（大津市打出浜 1-6）

③大津市民会館（大津市島の関 14-1）

※12日の諸企画の会場は申込み者にお知らせします。

開催方法：会場での直接参加（12日のみ一部オンライン併用）

参加費：2000円（オンライン参加及び1日のみ参加は1000円）

学生・保護者は500円（1日・両日いずれも）

全体交流会 6000円

すべての会場は  
JR大津駅から  
徒歩約20分圏内



**日程** 1月11日(土) 13:00～17:00 全体会（夜は全体交流会）

1月12日(日) 9:30～11:30 てんこ盛り講座・文化バザール・現地企画

12:30～16:30 旬の実践分科会・基礎講座（基礎講座は15:30終了）

## 全体会(1/11) 13:00～17:00

◇13:00～ オープニング いまを生きる高校生からのメッセージ『My dream』

作・演出：土田よしの・長谷川友彦 上演：近江兄弟社高校演劇部

『自分にしかできないこと、それを宿命にして生きていく』一人の女子高生が友達の抱える苦悩を目の当たりにする中で、葛藤し成長していくストーリー。「舞台上で全力で遊ぶ」を合い言葉に活動している近江兄弟社高校演劇部が、生徒と顧問で作ったオリジナル演劇です。様々な社会の問題、押し付けられる自己責任の中、学びを通して成長していく高校生の思いを、演劇を通じて伝えます。



◇13:35～ 主催者あいさつ・基調報告

◇14:10～16:40 報告：子どもたちの「願い」を大切にしたい教育実践のリアル

テーマ：子どもと一緒に本当の「やった！」「楽しい！」をつくりだそう

～子ども・保護者・教員が安心して学び、育ちあう学校づくり～

助言者：白石正久（龍谷大学名誉教授）、白石恵理子（滋賀大学教授）

<全体会報告に寄せて（現地実行委員より）>

主に4人の青年らのミニ実践報告—「こだわりのとても強い子との関係づくり」「肢体不自由重度の子どもの思いをくみとった授業づくり」「高等部軽度の生徒たちの居場所づくり」「子どもから出発することの大切さに気づいた障害児学級での実践」といった話を基に、『子どもと一緒に本当の「やった」「楽しい」をつくりだそう』というテーマを深めます。報告をもとに白石先生お二人からのコメントを受けて、いろいろと厳しい今だからこそ、実践づくりや学校づくりについて考えましょう。

◇16:40～17:00 まとめ・諸連絡

主催：全教障害児教育部・教組共闘連絡会・現地実行委員会

【お問い合わせ】TEL 03-5211-0123 FAX 03-5211-0124

## 全体交流会(1/11)17:30~19:30 会場:ピアザ淡海

全国からの参加者が一堂に会する「全体交流会」。コロナ禍以降自粛してきましたが、この滋賀集会で復活します。美味しい食事や飲み物を囲んで、日々の実践、仕事の悩みややりがいなど、仲間と語り合しましょう。近江米と琵琶湖の水で丁寧に育てられた鮎寿司や地酒もご用意しています。ぜひご参加下さい。

## てんこ盛り講座・文化バザール(1/12)9:30~11:30

講座名		講師
1	友達といっしょに物語を読もう ～障害児学級の国語の授業づくり～	鈴木 智代子さん(東京)
2	算数楽「できた感」と「なぜ解き」を ～図形教材を手作りしながら、おしゃべりしましょう～ ◎材料代 300 円集金します	川村 和人さん (数学教育協議会・京都)
3	楽しい障害児学級をつくろう！ (子ども理解と学級・授業づくり)	山林 哲さん(大阪) 高橋 翔吾さん(大阪)
4	音楽づくりで楽しもう ～自己表現が苦手な子どもたちとともに～	岡 ひろみさん(花園大学)
5	かがくで楽しむこすり染め ◎材料代・薬品代 100 円集金します	森田 和行さん(滋賀・県立高校教員)
6	言葉やりとりを育む「おはなしあそび」 ～ことば・かずの土台となる力～	保木 あかねさん(滋賀)
7	障害の重い子の授業づくり	木澤 愛子さん(滋賀)
8	医療的ケアと学校教育～歴史を振り返りながら～	竹脇 慎吾さん(埼玉)
9	幸せに生きるための包括的性教育 ～こことからだの主人公に～ <b>※オンライン併用</b>	千住 真理子さん (福祉型専攻科「ぼぼろスクエア」)
10	生徒たちがワクワクする作業学習を考えよう	長友 志航さん(滋賀) 小畑 耕作さん(太成学院大学)
11	私たちのインクルーシブ教育がめざすもの <b>※オンライン併用</b>	越野 和之さん(奈良教育大学)

## 文化バザール(1/12) 9:30~11:30

文化バザール		講師
1	「子ども達の笑顔あふれるマジック講座♪」(定員 40 名) 子ども達に人気のあったマジックをいっぱい紹介します♪ 簡単なマジック工作も ありますよ。練習の先には“子ども達の笑顔”が待っています♪	佐藤 比呂二さん (都留文科大学)
2	「おりぞめ」(定員 30 名) 和紙を折って、染料につけ、広げたら、様々な模様が現れるのが「おりぞめ」。「チガイはあってもマチガイはない」のがおりぞめ。染めた紙を作品にして持って帰ってもらいます。 ◎材料代 100 円集金します	小倉 義昭さん(滋賀)

## 現地企画 (1/12) 9:30~11:30

保護者に学ぼう、保護者をつくろう ～親の本音・親の期待～	パネラー 滋賀から保護者 3 名 コーディネーター 白石恵理子さん(滋賀大学)
---------------------------------	--

保護者と話すこと、つながることがなかなか難しい昨今。でも、保護者の思いを知ることは、私たちが子どもと向き合うときの大きなエネルギーになります。この講座では、3人のお母さんに、それぞれの子育ての経験、学校への本音や期待を語っていただき、学校作りで大切にしたいことを共に考えていきます。

# 旬の実践分科会(1/12) 12:30~16:30 (※のみオンライン併用)

旬の実践分科会	共同研究者
1, 障害児学級での教育実践(小)	熊本 勝重さん(追手門学院大学)
公文 英斗(滋 賀)「君の「先生」になりたい ~これまでの子どもたちとの関わりを通して~」(仮) 佐藤 圭 (愛 知)「特別支援学級での1年間の実践 ~秋夫が心を開くとき~」 岸上 三重(大 阪)「ゆったりと子どもに関わる」	
2, 障害児学級での教育実践(中)	山下 洋児さん(元特別支援学級教員)
高畑 恵 (北海道)「『やりたい』を大切にいろいろなことに挑戦」 中村 直子(埼 玉)「ぜんぶここにある~特別支援学級の魅力と私~」	
3, 通常学級・通級指導教室の教育実践	越野 和之さん(奈良教育大学)
福井 富美恵(滋 賀)「『ぼくは、書きたくない。』~通級指導から見えてきたこと~」 河口 泰孝 (京 都)「わたしたちも話したいんだよ~吃音のグループ指導を通して~」	
4, 視覚障害児の教育実践	【※オンライン併用】 鈴木 英隆さん(奈良)
多田 美記(滋 賀)「絵本をつくりたい~幼稚園3年間を通じた描くことの取り組み~」 中島 侃 (埼 玉)「つなひきオーエス!!」	
5, 聴覚障害児の教育実践	竹沢 清さん(元ろう学校教員)
宇野 共美(滋 賀)「オレらのバナナー見て・育てて・作って・感じる Shiga Go Slow the 地球温暖化一」 各県における聴覚障害児教育の現状と課題の共有	
6, 病弱の子どもたちの教育実践	栗山 宣夫さん(育英短期大学)
半井 愛子(東 京)「世界を広げて、つながって~『経験』を力に変えたAさんの挑戦~」 奥 正行 (大 阪)「子どもたちが安心できる場を! ~振り向いて『先生、もっとやって!』と伝えてくれた~」	
7A, 発達の遅れと授業づくり・教育課程づくり ア) 1歳半未満の発達段階の子どもたち(肢体不自由)	河合 隆平さん(都立大学)
村瀬 直樹(奈 良)「表出が少ないAさんとのかわり」 中野 亜紀(滋 賀)「Hちゃんの6年間の育ちについて」	
7B, 発達の遅れと授業づくり・教育課程づくり イ) 1歳半未満の発達段階の子どもたち(知的障害)	白石 正久さん(龍谷大学名誉教授)
佐々木健太(滋 賀)「“楽しい”を“いっぱい”!要求で踏み出すCちゃんの一步」 千葉 聖樹(東 京)「障害の重い子たちの教材作りについて~「季節のサーキット」他・教材の紹介~」	
8, 発達の遅れと授業づくり・教育課程づくり ウ) ことば獲得期の発達段階の子どもたち	高木 尚さん(日本福祉大学)
井上 清香(埼 玉)「体験・体感から気づくことば」 大師 観世・田中 みゆき(滋 賀)「みんなと一緒に楽しいね! ~笑い合い、受け止め合うあったか集団づくりを通して~」	
9, 発達の遅れと授業づくり・教育課程づくり エ) 教科指導・教科入門期の発達段階の子どもたち	櫻井 宏明さん(全国障害者問題研究会)
保木 あかね(滋 賀)「学校で思いきり笑い合える仲間に出会う~中学部3年間の育ちと伝え合う言葉~」 金澤 園子 (神奈川)「自分で見つけた宝物 ~わたし、ひらがなよめるよ~」	
10, 自閉症・自閉的傾向の子どもたちの授業づくり ・教育課程づくり(小)	三木 裕和さん(立命館大学)
茗荷 絢子(滋 賀)「Aくんのことをわかりたい~Aくんの“これすぎ”から始めた関係づくり~」 本田 理沙(愛 媛)「あせらず いそがず のんびりと ~小学部1年生のYちゃんとの関わりから~」	
11, 自閉症・自閉的傾向の子どもたちの授業づくり ・教育課程づくり(中・高)	別府 哲さん(岐阜大学)
室阿 真司夫(東 京)「好きなことをしてから 気持ちよく 楽しい学校 (仮題)」 西銘 愛 (滋 賀)「思春期真っ只中のツヨシから、気づき学んだこと。パート2」	
12, 青年期の課題と授業づくり・教育課程づくり	山崎 由可里さん(和歌山大学)
藤木 いおり・酒巻 昭人(滋 賀)「Make Joy 自分たちで楽しさ・喜びをつくっていこう(見つけよう) ~コロナによる活動制限の下始めた取り組み~」 柳瀬 尚樹(北海道)「キン肉マンがもたらしたもの」	

13, 性教育の実践	伊藤 修毅さん (日本福祉大学)
太田 景子 (奈良)「ふれあいていいな!~サイコロゲームの実践から~」 富永 有巳子 (埼玉)「先生聞いてもいいですか」~ 子どもたちが本当に知りたい事って何だろう~	
14, インクルーシブ教育時代の寄宿舎の在り方を考える (寄宿舎分科会1)	小野川 文子さん (北海道教育大学) 【※オンライン併用】
松本 晃 (山口)「寄宿舎指導員として歩いてきて」 小川 祐典 (栃木)「栃木県寄宿舎廃止計画を先生、子どもたちはどう受け止めたのか」	
15, 子どもに寄り添う寄宿舎教育の大切さを語ろう (寄宿舎分科会2)	能勢 ゆかりさん (奈良教育大学 非常勤講師)
谷川 萌 (京都)「楽しい! やりたい! 伝えたい! ~安心を支えにあゆむ~」 大前 学 (福井)「(先生) でしたあ!!!!」 ~ハルトくんの排便指導を通して、生活習慣とは何かを考えてみる~	
16, 保護者との共同・教育条件整備	吉田 洋さん (障滋協) 【※オンライン併用】
杉本 琢哉 (大阪)「50万都市・東大阪市に知的障がい支援学校の建設をめざして」 寺西 有里 (和歌山)「立場を超えて語り合う (子どもの笑顔実現プロジェクトのとりのくみを通して)」(仮) 渡辺 富美子 (青森)「保護者の気持ちに寄り添うために取り組んできたこと」	

## 基礎講座(1/12 12:30~15:30)

※オンライン併用

### 授業作りにつながる発達の考え方、子どもの捉え方

松島 明日香さん (滋賀大学)

子どもたちが授業で見せる生き生きとした姿。また、子どもたちが見せる“こまった姿”。こうした子どもたちが見せる様々な姿の背景にある「発達の願い」について、基礎的に学べる講座です。当日、参加者からも事例を出してもらいながら一緒に学んでいきたいと思ひます。

## 参加のお申し込みについて 【締め切り】12月13日

1、参加申込みについて ↓参加される方は全員、URLまたは二次元コードからお申込みください。

<https://gakkyugakko2025.peatix.com>



① 申込みフォームに入ったらまず Peatix のアカウントを作ります。

(すでに Peatix アカウントをもっている方は②へ)

② チケット購入画面より、参加申込みをします。この時のアドレスは@ezweb.ne.jp、@docomo.ne.jp @softbank.ne.jp などのキャリアメールでは登録しないでください。

③ 申込み後、②のメールアドレスに「tickets@peatix.com」から受付確認メールが届きます。届かない場合は、「迷惑メールフォルダー」を確認するか、迷惑メール設定でこのアドレスを外すか、キャリアメール以外でやり直すか、受信できるまで試みてください。

※受付確認メールが届かない場合は、必ず下記3まで問い合わせてください。受付確認メールが届かない方は、そのあとの集会連絡メール等も届かない可能性があります。

※講座や分科会で手話通訳や点訳レポート等を希望される方は、申込みフォームの「合理的配慮希望欄」に必ずお書きください。(手話通訳の申込みは、11月末日までお願いいたします。)

④参加者全員に「集会連絡メール」を12月25日までに syoukyou\_bu@educas.jp より送ります。12月25日までに「集会連絡メール」がとどかない方は下記までご連絡ください。

2、キャンセルについて「オンライン参加」申込みの方は Peatix のシステムでキャンセルしてください。

現地参加申込みの方は、都合が悪くなくても、キャンセル手続きをする必要はありません。

3、お問い合わせ (全国実行委員会・全日本教職員組合障害児教育部)

■ 1月9日までの連絡先 TEL (03) 5211-0123 FAX (03) 5211-0124  
メール [syoukyou\\_bu@educas.jp](mailto:syoukyou_bu@educas.jp) 担当: 村田、峯田

■ 1月10日~12日の連絡先 全教携帯【080-7930-3200】まで